



もっとくわしく!

いろえんぴつ講座



その1

まずはじめに 色鉛筆は ^{すいさい}「水彩」と ^{ゆさい}「油彩」の2種類に分けられます。

- ・「水彩 色鉛筆」は、えんぴつの芯が水にとけますが、
- ・「油彩 色鉛筆」は、水にとけません。

「水彩色鉛筆」は、水とがして絵の具のようにぬる事ができます。

その2

また、今説明した2つの色鉛筆どちらにも、^{なんしつ}「軟質」と ^{こうしつ}「硬質」があります。

- ・軟質 ... 芯がやわらかく、広くぬることがとくい!
また、軟質の水彩色鉛筆は 水で全てとける!
- ・硬質 ... 芯がかたく、線を描くことがとくい!
また、硬質の水彩色鉛筆は 水で全部とけずに線がのこる!

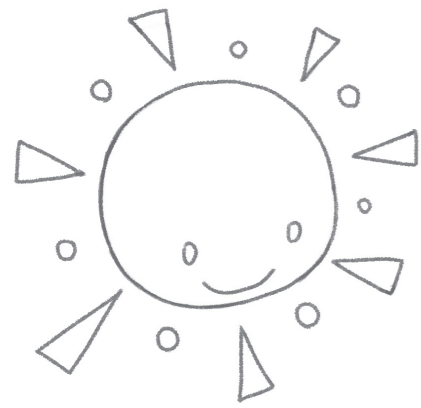
まとめ	色鉛筆の種類	^{こうしつ} 硬質 (かたい描きごち)	^{なんしつ} 軟質 (やわらかい描きごち)
	^{ゆさい} 油彩 (水に溶けない)	・線を描く事に向いている	・面をぬる事に向いている (ぬり絵向き)
	^{すいさい} 水彩 (水に溶ける)	・描いた線のタッチが残る	・全て水に溶ける

おすすめのいろえんぴつはコレ!



いろえんぴつの他にも
パステル クレヨン 水彩絵の具 油彩絵の具 など
さまざまな画材があり、それぞれ違ったぬり心地で遊ぶ事ができます!
また ぬり絵は、ストレス解消や、脳の活性化にも良いのだとか…。
100均でも購入できるので、いろいろと遊んでみてください!





ふんわりぬって こする

ティッシュでこすって ぼかすと、
やさしい雰囲気になります。



いろいろな ぬり方

色鉛筆にはいろいろな塗り方が
あります。
「自分^{じぶん}がたのしく^{かん}感じる方法^{ほうほう}で
ぬってみましょう！」

色の組み合わせ

同系色でまとめたり
明るい色でぬったり …
いろいろな色でぬってみましょう



色をかさねる

グラデーションにしたいときは、薄い色から
濃い色にぬっていくと、綺麗な色になります。
力強くぬると色が重ならないので注意！

また、濃い色をぬったあとに薄い色を重ねて塗ると、
深みのある色になります。
最後に白色を重ねると、ツヤツヤとパステルカラーに
なります。



模様をかく

チェックや花、星など
ちょっと模様を入れてみたり。

